

留学先大学： ピッツバーグ大学
 留学先での所属学部・研究科： School of Arts and Sciences
 留学先での在籍身分： Exchange student
 留学期間： 2012 年 8 月～ 2012 年 12 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 経済学部
 学年（出発時）： 5年
 本報告書記入日： 2012 年 11 月 27 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

留学生課から教えてもらった米国大使館の留学前オリエンテーションに参加しました。

住居について

- ・住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____
 住居（寮，アパート）の名前： Bruce Hall
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） 4人部屋スイート
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国： _____） その他（具体的に） _____
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____
- ・大学までの通学時間・手段： _____ 分，
- ・住居の周りの環境はどうか。：

まさにキャンパス内の中心にあるので授業への移動などは楽です。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

Marketという名の食堂（食べ放題）が朝から深夜まで空いているのでほぼ毎日利用しています。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつけましたか。トラブルはありませんでしたか。：

申請（5月）後ずっとwaiting listに載せられたままでしたが、渡航1週間前（8月頭）に寮が決まったと連絡がありました。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） Academic Advisorと相談
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

ほとんどの授業に履修人数制限があります。ただ、留学生・現地学生に関係なく、相談・交渉すればどの学生も好きな科目を履修できると思います。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Introduction to Money and Banking	J. Maloy	150分	3	45	教授はとても早口なので、事前に資料に目を通してから授業に臨んでいます。冗談を頻繁に言う、おもしろく若い（30歳ぐらい）教授。講義内容は難解ではない。
2	Intermediate International Trade	J. Cassing	150分	3	10	予習などは特に必要ない。テスト前に復習する程度。教授は年配で、リラックスした和やかな授業。
3	ESL Listening and Speaking	P. Popper	150分	3	10	とても学生を大切に考えてくれる素晴らしい講師。内容はとても易しい。活気ある、とても楽しい授業。
4	Elementary German 2	A. Post	250分	5	10	奇妙でおもしろい教授。彼の英語は聞き取りにくい。授業に出ていれば好成绩を取れる（評価の具体的方法は不明）。
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

成績の評価基準は（一部を除き）とても明確。私の専門の授業では出席を取りませんが、学生はほとんど欠席することはありません。クラスのサイズはレベルに依ります。初歩的な授業（macroeconomics, general chemistry, calculus等。多くの1年生は専門を決めてないため。）は大教室で行われますが、高学年向けの専門科目は小さなクラス（10人程度）になります。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00							
10:00	10-11 German	10-11 German	10-11 German	10-11 German	10-11 German		
11:00		11-12 M&B		11-12 M&B			
12:00						rise/shine	rise/shine
13:00	13-14 ESL		13-14 ESL		13-14 Int'l trade		
14:00		14-16 Int'l trade		14-16 Int'l trade			
15:00							
16:00							study all day
17:00							
18:00		20- Japanese Cultural Associatio n meeting					
19:00							
20:00							
21:00					parties	parties	
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

こちらでの生活には満足しています。アメリカに留学しなければ決して出来ないであろう多くの経験をする事が出来ています。

一番驚いたことは大学内でのイベントについてです。これは誇張ではなく、本当に毎日のように大学主催や留学生支援団体、その他サークルのイベントがあります。平日は稀に何も無いこともありますが、週末には1日に4つのイベントがあって、どれに顔を出そうか悩むこともあります。大学主催のイベントが深夜2時までといったこともあって、さすがアメリカだなと感心したこともあります。私がこれまでに参加した膨大な数のイベントの中からいくつかを列記すると、キャンパスツアー、映画上映会（何度も。Spiderman, The Campaign, Brave等）、ハロウィーンパーティ、隣の州のお化け屋敷への遠足、ビンゴ大会、卓球トーナメント、アパレル・自動車企業によるディスカウント販売、有名人の講演、カラオケ大会などです。

上記のイベントも含めて学生の生活を本当に気にかけてくれているなど感じます。9ルートの無料シャトルが運行していて、夜中まで図書館で勉強した女子学生でも安全に帰宅することが出来ます（早朝から深夜3時まで全ルート10分毎に運行）。勉強と言えば、図書館も毎日深夜2時まで開いていて、期末テスト前の2週間は24時間開いているようで、コーヒーまで無料で提供されるそうです。やはり自由の国だからかどうか分かりませんが、学生がやりたいことは何でもできる環境が整っている気がします。日本と違って大学キャンパス内に寮がある（1年生は全員寮住まい）ことも影響しているのかもしれませんが、食堂（何時間でも滞在可能で食べ放題、メニューも充実）、図書館、娯楽コーナー（ボーリング、卓球、ビリヤードが可能）等、施設は本当に充実しています。また、学生証を提示すれば市内の交通機関（バス・電車・ケーブルカー）、博物館・美術館は全て無料で利用できます。

最後に、中国の存在の大きさを身を持って感じています。私と同時期にピッツバーグ大学に入学（1年生として正式入学、編入、交換留学）した留学生は29カ国184人ですが、そのうち中国からの留学生が120人で、その他の多くの国は各国1人ずつの学生です。留学生に加えて、こちらで生まれ育った中国人学生（通称ABC: American Born Chinese）もたくさんいるので、大学内のどこにいても中国人と顔を会わします。高校卒業後の選択肢としてアメリカの大学が当然のようにあるというのは、内向きが指摘される日本人学生とは比べ物にならないなど感じました。